令和5年度　鹿児島県看護協会　鹿児島地区報告

特別講演：高齢者の看護
（事例から学ぶ認知症とせん妄）

令和5年6月10日（土）14:30～16：00
鹿児島県看護協会　研修会館

鹿児島地区集会の特別講演として、看護研修会館3階にて、公益社団法人鹿児島共済会南風病院老人看護専門看護師で看護・介護連携支援室室長の山元　智穂先生より、高齢者の看護（事例から学ぶ認知症とせん妄）の研修会を開催しました。講演会には役員を含む看護職106名の参加がありました。　鹿児島唯一の老人看護専門看護師である山元先生の講演は、とてもわかりやすくあっという間の90分でした。

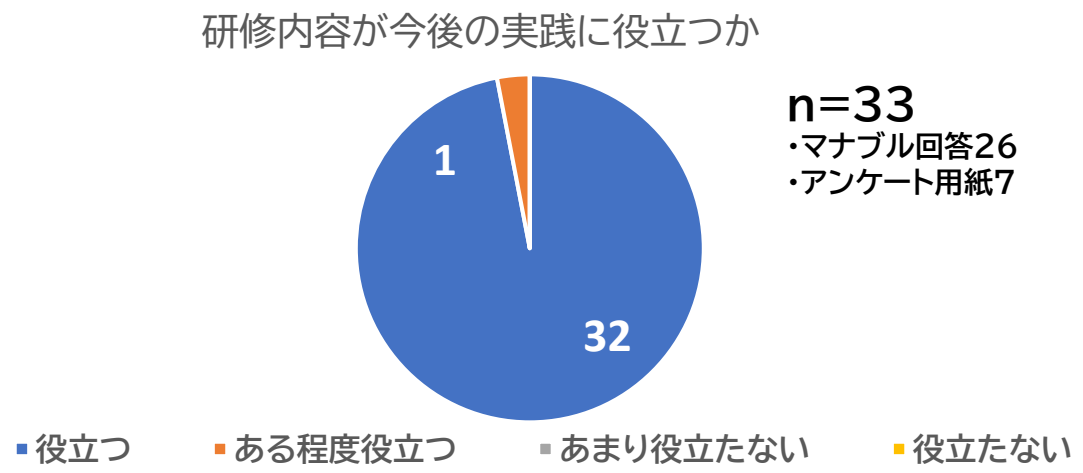
研修後のアンケートには、「認知症やせん妄を正しく理解することで、患者さんの行動や言動を細やかにアセスメントできる事を学べた」「講師の方の患者さんとの関わりなど、具体的な話が盛り込まれ分かりやすかった」「このシチュエーションは、私の病棟の〇〇さんと同じだ。あの時夜間せん妄じゃなくて、悪夢や何か訴えていたのかもと考え方に広がりができました」など今後の認知症看護に活かすことができるといった内容が多く満足度の高い研修会でした。

我が国の総人口が減少する中で、高齢率は増加の一途をたどっており、高齢患者の対応について悩むことも多いのではないでしょうか。講義では、高齢者を理解するために知っておきたい認知症とせん妄の違いや、意識障害と精神機能、高齢者の特性について学習しながら、事例から高齢者とその家族がこれまでの人生で培ってきた経験や考え方、その人らしく生活するための手段や方法を考えることができました。アンケート回答が約3割と少なかったため、マナブルでの申し込みの周知と回答を働き掛けていく必要性を感じました。

研修担当者：教育委員　出口　明美

＊研修後のアンケート結果

1.今回の研修に参加して、今後の実践に役立てることができますか。



2.研修参加後の参加者のご意見(一部抜粋)

- 現場で関わっている困難事例と類似している内容があり、その際の対応方法を研修会で学ぶことができました。
- 認知症やせん妄を正しく理解することで、患者さんの行動や言動を細やかにアセスメントできる事を学びました。
- 当施設で認知症のご利用者様の対応に困っています。本日の研修会の内容を活用し、今後対応していきたいです。
- 事例を踏まえての内容でわかりやすかった。
- ご講義して頂いた中で、当施設で同じシチュエーションがあり、その時、どのような対応を行ったらよいのか参考になりました。

＜告知＞　今年度より地区研修はすべてマナブルでの申し込みです。
次回は、10月14日（土）新人研修「呼吸・循環のフィジカルアセスメント」の予定です。

編集：出版規約委員　兼石　彰

入会してポイントを貯めよう!
当日、入会も出来ますよ～(*^_^*)／

入会のご案内：https://k-kango.jp/annai/nyukai/